

皆さま、今日は！お騒がせの古賀です。メッセージや、お手紙などありがとうございます。心配をおかけしてゴメンね。

状況が好転したとか、問題が解決したとか、そんな訳ではないのですが、前回、こがっち通信を書かせていただいて、その後、自分の中で変化して行くものを感じました。今更ですが…

光と闇は別々の様で同じなんだなって…。光は闇のおかげで存在し、闇も光のおかげで存在できています。どちらかだけでは存在できないです。光があるからこそ闇を認識でき、闇が存在するから光を認識できる。どちらが、良いとか悪いとかではなくて、二つでひとつなんだなって思います。今、私の置かれてる状況はこの世的には、地球的次元では、闇と言うのかも知れないですね。

でも、果たしてそうなのでしょうか？、思った訳です。光も闇も同時にそこに存在していて、その中で何を見ているのか、認識しているのかと言う事じゃないのかなって…

実際、青色の吐息の私の商売で、そんな中、一番大きな取引先が、急に今月で閉店を決めました。神様、そう来ましたか！「ついに、蜘蛛の糸を切られた！」って、思いました。まさかの坂でした(笑)。

約束手形は数か月前まで切っていました。でも、売り上げは無くなる訳です。こんなこと想定して商売するのが理想なのでしょうか、そんな余裕がある訳ではないので、今月から

早速の大ピンチです。しかも、今月は、昨年末の大きな手形も回って来ます。あっちゃって、デコピンです。…、それで、あんな情けない赤裸々なこがっち通信を書いてしまいました。本当に「ごめんね」、皆様を振り回してるのかも知れないですね。前回のこがっち通信を書き終えた時、本当にこれを入れて良いのか、止めた方が良いのかと、迷いました。

嫌な思いになられるかな？心配かけるかな？軽蔑されるかな？恥ずかしい事なんだろうな…などなど、で、数名の方に読んでいただき、同封することに致しました。こんな人生を生きてる人も居るんだなって、知っていただけでもイヤかも…なんて思った次第です。私の人生は私だから受け止める事が出来るんだと…その自分の奥にある絶対的に不動なものが確認できたことも…が大切にしたいです。

20年あまり禅の会のお世話役をさせていただき、横糸をやって来た私。

酒屋を引き継いで17年。毎月、資金繰りにあぐさる経験をして来た私。

みんなの学校に出会い、新たな出逢いから、この社会の中で、皆さんと一緒に生きて行きたいと思った私。

どれもそれぞれが経験でした。比べるものでもなく、大切な私にとっては同じでした。Aの為に、Bをやってるんでもなく、CがあるからBが出来る…そんなんじゃないか？Aの時にはBもCもなく、Bの時にはAも

です。絶対の条件付きこれも観自在。まあ、思い悩んでるのは事実ですもんね。でも、一応、女子です。弁解させて下さい(笑)えっと、噂では、超大金持ちらしいお客さんが、ぼろっと言いました。

「お金なんて使えば無くなるもんやろ。俺は世界中で色々な人を見たよ。土の中で寝てる子どもや大富豪や。俺は、ママを素敵だと思っしママとの出逢いをありがたいて思ってる。ママの周りの人は皆、素敵な人でママの宝やん。人って、使っても無くならない、本物の財産だと思っよ。」はい。ありがたいです。私の悩みなんてお金で解決できる小さなものでございまして。ココロの力っコイ人です。

また、すごく素敵な組織を持って、頭脳明晰、抜群の行動力、トップに居る暖かくて魅力的な方、古賀さんに出会えたことが、僕の人生に大きな影響を与えてくれた。出逢えて本当に良かった。と言うような事を言っ下さいました。こちらこそ、ありがたいです。また、ある方から、こんな事も提案いただきました。「お家をあげる」と言われました。リース物件の残ってる代金なども全て済ませて、私にくださる言われるのです。

目の前が「海」のお家です。なんか、地獄なのか天国なのか…闇なのか光なのか…そうそう、表裏一体でした。こんな神業ですね。今月末の手だてが付いた訳でもないです。倒産の恐れや不安と言っ現実が変わってないのです。でも、それと一緒に存在してる。二

Cもない。だから、そんな生き方をしたいんだと…私は、自分に素直に自分がやりたいから、やっていました。どれもです。そして、どれも同じだけ好きで大切でした。勿論、今も。今回の事で、そうだったんだって思う事がいっぱいありました。

そして、事も、人も、観てるその人の思いの様に、ただ、存在して、見えてるようです。

世界の平和を願う活動も、偉大な教えを伝える事も、陶器市で力しーを売る事も、一緒にだなんて気づきました。

禅の会は、こうだね。みんなの学校はこんなだねえ。古賀さんはこうだったね。…、それは、それぞれが観てる世界で観自在ですよ。

禅の会は、毎月、20年間途切れることなく、開催されています。そう、禅の会は、禅の会の時に存在する…大敬先生から、お話しと坐禅を学ぶ会です。それ以上でもそれ以下でもありません。必要とする人が集まり、作り、学んでいます。禅の会は、古賀の会と感じてる方も居るようです。そんな風に言われる方も居られます。でも、それすらも、その人が観てる観自在の世界じゃないかと思うのです。責めてる訳ではないですよ。自分が何を選択するかじゃないかと思っます。見方が実型でした。

春の小石原陶器市は、連日、お天気に恵まれ大盛況でした。禅の会で、みんなの学校で、樂屋で出逢った皆さんが、スタッフとして、お客さまとして参加された賑やかな三日間で、それを「自己犠牲と感じる人」も居れば、

つでひとつなんです。その事を、人を通して、事を通して、追い詰められたおかげで、私は、学ばせて頂いたのかも知れません。

また、私は、きつと、弟子として生きるのではなく、同志として生きて行くのちなんだと思っました。弟子として生きるのでしたら、ゆるぎない一本の塔を建てるという確固たる意志と忠実を誓う事も必要なのかも知れませんが…でも、私のイノチは、出逢う人全てが師であり同志でありと言っ経験を重ねる事を喜んでるような気がしています。そして、小さくても、先生も生徒も老若男女と一緒に遊び学ぶ塔が三つ位出来て、その先の事は解んなくても、その塔が、いつか、ひとつになるのかもね。点が線になるように。

それが、きつと、今世の私のいのちの在り様なのかも知れないですね。あ、塔って言うのは、建物のことでは無いですよ。中心の意識があつて、みんなで作るジグソー塔です。

今私が書いている事が正しい感覚なのか、どうなのかなんて分かりません。ただ、今、そんな風に感じて居ます。

では、6月禅の会は森の家です。

6月17日 小石原 森の家 禅の会

◆小石原 森の家での坐禅会は、

毎回、13時15分〜15時30分です。

参加費 二千円

ランチ千円、送迎無料、ご希望の方はお申し込みが必要です。

申込み 柿本 080-6435-9558

「やらせてもらえて嬉しかった」と感じる人も居ます。それ以外にも感じ方って多様です。じゃあ、前者はXで、後者はOって言えるでしょうか？O×の判定って必要でしょうか？行くのも行かないのも、自分で選択するだけなんです。誰かの為であっても、誰かのせいであっても、自分が決めます。自分の選択は、自分以外決めれないだと思っます。その陶器市で、力しーを売っている私たちがそこに存在しています。きつと、ただ、それだけなんです。それが、良いのでも悪いのでもないですね。集いし人が集い力しーが沢山売れました。じゃんじゃんみたいなの、感じでした。うか？笑…神様手配のジグソーピース。今回の陶器市で二日間炎天下で売り子をした私は、帽子も被らず、日焼け止めも、ファンデーションも無し、いつものスッピンでした。若い時のつもりで、日焼けしても赤くなる私は、すぐに戻るって紙めてました。ところがところが、大変な事に、真、黒に日焼けして、シミも出来てしまいました。まあ、少しづつ薄くなって行くと思っますが、とりあえず今はきつと色して居ます。陶器市で一緒に居た方は、焼けたね。真、黒やんとか言いますが、大概の方は今頃、今時、そこまで日焼けするバカチンには居ないので、顔色悪いねとか、具合悪いの？とか、力サ力サやんとか言われます。やられましたね。…、これに、前回のこがっち通信ですから、こりやそう思う悩んでるな…って、観られてもしゃあない